レンタルタックルでトライ ダンディな名人に教えてもらいましょう

Bグルレンジャー、オーラスのお題目は好シーズンに突入した東京湾奥盤洲牛込出船の夜メバルであります。少し暖かくなった夜の海へ出て竿を出し、春告魚を釣って季節を感じるなんて粋じゃありませんか。

とか言ってるけど、夜メバルはルアーでは何度か経験があるものの、エサで釣るのは初めて。同船でルアーもOKとのことだからルアータックルも用意し、ドキドキで行ってまいりやした。

隊員はオイラの友達で、歯科医院の先生でもある女医レンジャー（以下カナエちゃん）を招集。大の釣り好きで小〜大型青物のジギングまでこなし、なぜかオイラよりも釣ったりする。さらには赤ちょうちん灯好きの酒好きで、下ネタも全然OK。本当に女性なんだろうかと思うときがしばしばある。

お世話になったのは牛込ゆうせん。エサ釣り用のタックルを持っていないオイラたちはレンタルして、午後5時30分に出船となった。

当日はオイラたちを含め4人が乗船。あいさつするとオイラの隣に座る外山さん（市原市）は、以前O藤が取材で乗船したときにも同船していたとのこと。「ヤッター、外山さんが乗っていてくれたぁ」

実は外山さんの話は電話でO藤から聞いていて、「もし乗船していたら絶対釣り方とか聞いておけ。夜メバルの名人だから……」との話だったのだ。

渡りに船とはまさにこのこと。外山先生と呼ばせてもらうことにし、カナエちゃんと2人ご教授願うことにした。

さっそく釣り方のコツを聞くと、底を取ったらゆっくりと上下に誘いをかけるのが基本だそうで、あとは徐々に探るタナを上げていって（底から2〜3メートル）メバルのタナを見つけることが大事だという。

また、誘いは上下に誘うほか、ゆっくりと竿先を左右に動かすのも効果的だとか。誘いを入れないのはダメで、エサをダレさせてしまうと食いが明らかに落ちるそうな。

フムフム勉強になりやすなぁ。アタリと合わせについては、コツコツッとアタリがあったら誘いを止め、ゴツゴツゴツッと食い込んだらゆっくり合わせればいいそうでありやす。

「ここまでできれば釣れますよ。あとは魚の機嫌次第ですね」と、物腰柔らかくダンディな外山先生。恩に着ます。ヨッシャー、これで大漁だぁ！

釣り過ぎレンジャー
三石 忍（みついししのぶ）
タチウオや食わせのフグ、最近じゃマルイカやカワハギでもスゴ腕の女釣り師。「ヤツがくるとオレ、自信なくすんだよね」とは情けない隊長の言。

女医レンジャー
鈴木 香苗（カナエちゃん）
隊長の友達で歯科医。船上では女らしさはみじんも感じられず、仲間内でそろそろヒゲが生えてくるんじゃないかとウワサされている

ヤベレンジャー
谷部信幸（やべ のぶゆき）
最近何かの間違いで彼女ができてしまい「今後はマジメに生きる」と言い残しキャバクラ調査戦隊「キャバレンジャー」を脱退したらしい。

隊長ノブレンジャー
竹田信彦（たけだ のぶひこ）
連載を通じてすっかり沖釣りにハマったが物覚えが悪く、まるで上達しない酔っぱライター。ホッピーと煮込みを定期的に摂取しないと死んでしまう40歳。

▼港からすぐの建造物周りでスタート。湖のように穏やかな海なので船酔いの心配はありません

たぶん最終回!? Bgour ★Ranger

東京湾盤洲の夜メバルでメバルンバ(?)の巻

東京湾奥盤洲牛込港・牛込ゆうせん

写真／文◎基本的に**竹田 信彦**

▶隊長が魚体の写真を撮り忘れました。うら若き美じょ…ウッPCが固まった（ノブ、やめとけって……）

▲ポイントへ向かう途中、親切に釣り方をレクチャーしてくれた外山先生。感謝、感謝であります

★つり情報別冊『マダイ攻略マニュアル』絶賛発売中!!

▲夜のとばりが下りるとメバルの活性が上がりアタリが出始めた。しかし当日はなかなか食い込んでくれなかった

▲開始早々「キタよ！」っと言って、アイナメをズボーンとぶっこ抜く外山先生。カッチョよかったッス

★ワンポイントアドバイス Advice
ルアーはスローに巻き、色いろなタナを探るのがコツ

牛込ゆうせんではルアーで狙うことも可能。建造物の下へアンダーハンドでキャストして釣るのでありますが、リーリングはとにかくゆっくりが基本。ワームが海中でフワーッと漂うようなイメージで巻いてくだされ。コツは着水後沈める時間を変えて色いろな深さを探ってタナを見つけること。ただし、沈め過ぎると隊長のように一発で根掛かりするので注意。

▲外山先生愛用のリールは懐かしやD社のファントムで、ラインはナイロンを使用。ナイロンを使う理由は「食い込みがよく、障害物に引っ掛けてしまってもPEより強いから」とのこと

▲なかなか食い込まないアタリをモノにして、次つぎと20センチ級のメバルを手にする木更津市の安積さん。さすがでした

▲エサのアオイソメは1匹まるごとハリにチョン掛けすればOK。あまりに長いヤツは少し切って使ってもいいそうでありやす

▲アイナメもけっこう交じる。うれしいお土産です

▲空が暗くなると、絶妙な誘いで外山先生も20センチ級を連発

▲なかなか食い込まないアタリに悶えている女医レンジャーカナエ。よく見ると頭から湯気が出てます

日没から食いが上向き、女医レンジャーに尺メバルがヒット、が……。

港を出て5分も走らないうちに最初のポイントである建造物周りに到着。とりあえずオイラは撮影に回り、カナエちゃんは外山先生の教えどおりにアオイソメを1匹ハリにチョン掛けして、水深10〜15メートルの建造物際に仕掛けを投入する。

柱に沿って転々と移動しながら釣っていくが、まだ空が明るいせいかカサゴとアイナメは上がったものの本命は顔を見せない。

んが、日没して少したったころから状況が一変し、木更津市の安積さんと外山先生が20センチ級の本命をキャッチ。とはいえ今日は食い込みが悪く、なかなか釣果はのびていかない。

カナエちゃんは、「いま食ったのにぃー、なんでぇー。クヤシィー」なんて言いながら、頭から湯気を出している。

そこでオイラはもしかしたら、小さく短いソフトルアーなら一発でメバルが吸い込んでくれるんじゃないかと、すぐに2グラムのジグヘッド&1インチのピンテールワームを建造物の際に投げてみた。

メバルが食ってきたのは底近くだと聞いたので、十分に沈ませてゆっくり巻いてくると……ガツッ。ううっ、1投目から根掛かりだよ。

ルアーを結び直してキャストを繰り返していると、ググンと、さっきとは違う生命感のあるアタリ。合わせると、ブルブルと躍動感。隣で釣っているカナエちゃんに、

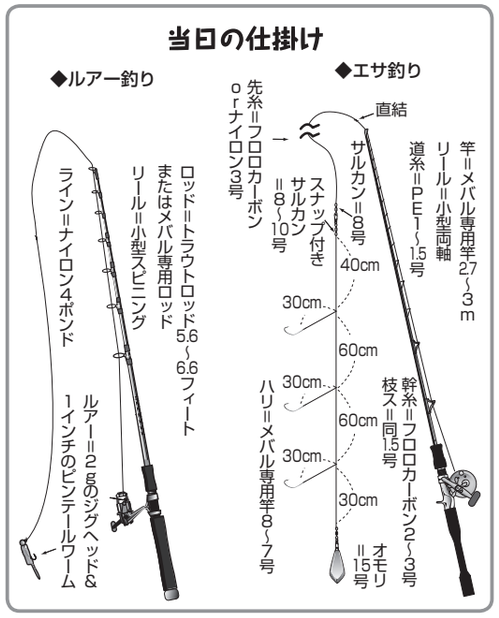
「きたよ、メバル！」と、勝ち誇ったように笑い慎重に取り込んだが、これが極小のセイゴで、カナエちゃんと外山先生にプッと笑われちまった。

そのころからエサ釣りは格段に食いが上向き、外山先生は27センチもある良型のメバルをゲット。カナエちゃんもコツをつかんだようで25センチ級のメバルに続き50センチ級のシーバス（フッコ）までゲット。釣れていないのはオイラだけ。

そんなときカナエちゃんが、「た、隊長、またデカイのが掛かったよ！」と叫び、往診じゃなかった、応戦している。

竿は大きく弧を描き、続いて魚が横走り。またシーバスだろうと思っていたが、海面に姿を見せたのは驚くほどデッカイメ

当日の仕掛け



▲そんな隊長を尻目に、エサ釣りのコツをつかんだ女医レンジャーは良型を連発

▲張りきって得意のルアーでチャレンジしたものの、1投目から根掛かりさせている隊長。全然ダメじゃん

▲先生は27センチ、女医レンジャーは20センチ級を連発して大喜び。隊長は蚊帳の外

◀ようやくルアーで釣って大喜びの隊長

▶尺クラスのメバルをバラした直後。悔しさが顔からにじみ出ていやす

▶エサ釣りに切り替え、外山先生直伝の横誘いで釣ると、頻繁にアタリがあり危ない顔になってる隊長。この間も上野駅で職務質問を受けたらしい

◀当日釣れたメバルは20センチオーバーも多く、煮付け好きの女医レンジャーはニッコニコ。みなさんもぜひ!

バルでデケェー! と絶叫。

しかし、次の瞬間ハリが外れて視界からデカメバルが消えちまった。嗚呼……。

ガックリとうなだれるカナエちゃん。船長も、

「尺あったかもねぇー。残念」

と肩を落とす。クソッ、せっかく我が隊にきてくださった尺メバル様をバラしやがって……。もしこれがヤベレンジャーだったりしたら、間違いなく10行はボロクソに書くところ(懲役10行ってか)だが、カナエちゃんは歯医者さん。ここでケチョンケチョンに書いたら、今度オイラが治療に行ったときに痛い思いをさせられるに違いない。だからグッとガマンだ(執行猶予ってやつか)。

隊長もアブレを脱出 オーラスもニンマリ。皆さんのおかげです!

その後、オイラもルアーで25センチ級のメバルをなんとか釣り上げてホッと一安心。エサ釣りに切り替え、外山先生直伝の横の誘いで底からチョイ上のタナを探ると20〜25センチ級の本命が連発した。

プルプルッときた後に、ガツガツガツッとくる瞬間がたまりませんです。

結局この日は午後8時30分の沖揚がりまで、なんだかんだと釣れ続きトップは前出の安積さんで本命17尾の釣果。

2番手は外山先生で12尾、カナエちゃんが7尾でオイラは5尾。すべて外山先生のおかげです。ありがとうございました。

牛込ゆうせんの鳩飼和夫船長によれば、例年3月中旬を過ぎるとメバルの活性も上がり、数型ともに安定して十分に楽しめるとのこと。

鳩飼船長は穏和な方で、釣り方なども優しくていねいにアドバイスしてくれるからビギナーも安心。ぜひ皆さんも出かけて春の恵みを堪能してください。

さあ、これで丸4年も続いたBグル隊の連載も今回で最終回。船長はもちろん、おかみさん、仲乗りさん、乗り合わせた常連さん、そして読者の皆さんに助けられて、ここまでやってこれました。ホント感謝です。それでは……。

アレ? O藤からメールがきてる。なになに明日の午後6時に上野のガード下に集合、次の打ち合わせ……だってぇ。あそこの焼酎はかなりキツくて2杯でベロンベロンになるし、次の日は思いっきり残って労働意欲がゼロになるから、せめて加賀屋とかにしてほしいんだけどなぁ……。どうやらBグルシリーズは5年目に突入する模様です。

盤洲・牛込
牛込ゆうせん
☎0438・41・6755
(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=夜メバル乗合1人(氷、エサ付き)5,200円▶備考=レンタルタックル無料。木更津金田ICより約10分

鳩飼 和夫船長

INFORMATION

★レンタルの専用竿で抜群の釣り心地

当日は専用のタックルを持っていなかったので、タックルをレンタルしやした。お借りしたのは3メートルの高級メバル専用竿&小型両軸リールで、ロッドは「この竿ならメバルがエサを口にしたら最後、みんな釣れちゃうよ」と、常連さんも絶賛するベロンベロンのムーチングアクション。

実際に使ってみると、まさに常連さんのお言葉どおりで、すこぶる食い込みがよく、メバルの引きを存分に味わわせてくれて思わず大興奮。

「やっぱり専用竿だなぁ」と、感心でありやした。タックルがない人はぜひレンタルして、抜群の釣り心地を味わってくだされ。

▲リールのハンドルは左右両方あります

シロート料理が自慢のお店です
Bgourmet diningroom
Bグル食堂

◆十弐品目…ビールにピッタリの超簡単おつまみ

メバルのケチケチ空揚げ

by 牛込ゆうせん 常連の外山さん

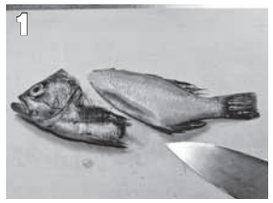
Bグルレンジャーオーラスのお品は、わが隊の面倒を見てくださった名人・外山先生イチオシのメバルのケチケチ空揚げであります。

なぜケチケチなのかというと、シンプルに作る場合はサラダ油と塩くらいしか使わないから。なんともBグルっぽい品でありやす(うひひ)。

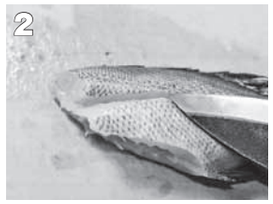
外山先生は下処理したメバルをそのまま揚げて、食べるときに塩&レモン汁を振りかけてパクッとやるのが好きだとか。

メバルは15〜20センチまでのちょっと小さいヤツがよく、こんがり揚げるとヒレもパリパリで中骨以外はすべて食べられてしまいやす。それになんといっても簡単に作れるのがいいですな。

今回は軽く塩&コショウしてから揚げて、市販のサルサソースを付けて食べてみたんでありますが、いやはや、これがビールに合っちゃってしょうがない。これからの季節にピッタリの一品、ぜひ皆さんも作ってみてくだされ。



1



2

3

4

5

●両面がこんがりとキツネ色に揚がったら完成。塩&レモンやサルサソースを付けてどうぞ。ビールがウマイ、ウマイ!

4:軽く塩、コショウを振る
5:フライパンに3〜5ミリほどサラダ油をしき、中火で片面ずつ揚げる

●材料
塩、コショウ、サラダ油、レモン、市販のサルサソース、付け合わせはプチトマト、パセリなど

作り方

1:ウロコを取り、頭から腹にかけて包丁を入れて腹骨ごと頭を取る
2:血合骨がある位置に包丁を入れ、血合骨に火が入るようにする
3:揚げているときに水がはねないように、キッチンペーパーで水分をよく拭き取る

(撮影 O藤)

ニューノブの調理後記

●外山さんが教えてくれた「ケチケチ空揚げ」は実に簡単でマジウマ。

これって小型のカサゴやソイ、小アジなんかで作ってもおいしいんじゃないかと思いやした。今度試してみやす。もちろん定番の煮付けも作ってみたんですが、きめ細かな白身が絶品で、よい春の夕げになりやした。

Bgour☆Renger Report

女医レンジャーより報告しま〜す

★夜メバルは初めての経験でした。最初はなかなかエサを食い込んでくれないもどかしさにヤキモキしていましたが、外山先生のアドバイスのおかげで、その後は連発。先生に感謝です。

この日釣ったメバルは定番の煮付けにしてみたのですが、きめ細かな白身が最高においしくて、これが大好きな日本酒に合うこと! また絶対に行きたいです。

朝早く起きなくていいから楽だし、波も穏やかなので気軽に楽しめます。女性にもおすすめの釣りですよ!